

イマーシブ

境界なく連続する一つの世界「チームラボボーダレス」

「イマーシブ」(immersive)とは、「没入感」などと訳され、イマーシブ体験とは、体験する人自身が当事者のように、その体験の中にのめりこむ状態を指す。

現在、イマーシブは没入型・体験型のエンターテインメントとして広く認知されつつあり、ここ1~2年、関連施設が各地にオープンしているが、その理由として、コロナ禍での巣ごもり需要やスマホに可処分時間のほとんどが使われる現代の消費スタイルからの揺り戻しが背景にあるのではないかと推測されている。

エンタメでのイマーシブ体験施設と一口で言ってもその裾野は広く、様々なタイプがある。本稿ではまず、デジタル技術を駆使した圧倒的な視覚体験によって、非現実的な世界に没入できるイマーシブ事例として、「森ビル デジタルアート ミュージアム：エプソン チームラボボーダレス」(以下「チームラボボーダレス」)を取り上げる。

1. デジタルアートで世界からの評価も高いチームラボ

「チームラボボーダレス」は、境界のないアート群による「地図のないミュージアム」として、2018年6月に東京・お台場にオープン。初年度の年間来館者数は、単独のアーティストのミュージアムとして世界最多規模となる約230万人を記録している。その後、1年半の閉鎖期間を経て24年2月には港区の麻布台ヒルズ内にて移転開業した。

これまで国内外において権威ある賞を多数受賞するなど、その独自性と高いクオリティには作品としての評価も高く、来館者に占める外国人比率が高いのも特徴的である。

運営は森ビルとチームラボ株式会社(本社:東京・千代田区)が共同設立した森ビル・チームラボ有

限責任事業組合が行い、エプソン販売がプロジェクトパートナーとして協賛している。チームラボにとっては東京初の常設展示施設で、同社のフラッグシップ施設という位置付けとなっている。

チームラボは、01年に東京大学と東京工業大学(現・東京科学大学)の大学院生ら5名によって設立された企業で、創業当初からWEB開発やレコメンドエンジンなどの独自技術を活用した製品開発に加え、デジタルアートの制作にも取り組んでいた。

アート、デザイン、プログラミング、エンジニアリングなどの多様な分野から集まった専門家集団は、旧来のアートの枠を超えた新たな表現方法を模索し続け、活動初期からインタラクティブで没入感のあるアート作品を発表。特にデジタル技術を駆使した空間展示が注目を集めている。

チームラボの作品は、通常の美術館展示にとどまらず、企業イベントやコンサート、公共アート、テーマパークのような大規模施設でも展示されている。

2. さまよい、探索し、発見するアート

「チームラボボーダレス」には、見ごたえのあるアートが79作品あり、移転開業後はお台場時代に展示されていた作品に加え、新作や日本未公開作品も加わっている。その中から一部作品をピックアップする。

① Borderless World

50作品以上にも及ぶ「チームラボボーダレス」におけるメインコンテンツ。作品の境がなく、それぞれの作品がほかの作品の影響を受けながら新しい世界を創り出しているのが特徴である。

■刻々と変化していく滝



出所：チームラボボーダレス公式 HP

水が岩に流れ落ち足元の地面を流れていく。人が作品の上に立ったり作品に触れると、水の流れも影響を受けて変化する。また、水とともに壁を流れてくる「蝶」や「鳥」などの漢字は、触れると文字の通り蝶や鳥が出現する。序盤にたどり着くこの空間は、この後に続く世界観を設定し「境界なく連続する世界」という概念を強調する。

■追われるカラス、追うカラスも追われるカラス：虚空の宇宙



出所：チームラボボーダレス公式 HP

空間の入口付近中央に立つと、壁と床の境界がなくなり現実空間が消え、カラスの軌跡が描く線が空間に立体的に描かれ始め、作品世界にからだごと没入していく。カラス群は、先頭のカラスを追いかける。追いつかれたカラスは花となって散り、追うカラスもやがては追われる側になっていく。カラスは人をよけるが、よけきれず人にぶつかると、花となって散る。

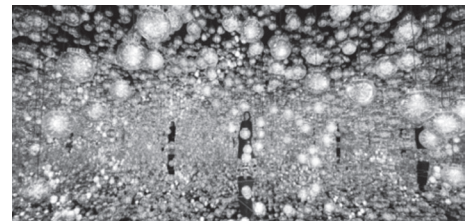
② Light Sculpture (現在メンテナンス中)

流れ出ていく光による巨大な光の彫刻が生まれ、押し寄せ、広がり、人々を飲みこんでいく。現実空間とミラーの中の世界は、非対称な異なる存在で、現実世界とミラーの中の世界を行き来する。

③ Bubble Universe

世界初公開の新作。球体群によって異なる光の現象が入り混じりながら、独特な空間を作る、チームラボの新たなアートプロジェクト「認知上の存在」をテーマにしたインタラクティブ作品。鏡によって無限に続くかのように見える空間は、無数の球体によって埋め尽くされている。

■人々のための岩に憑依する滝



出所：チームラボボーダレス公式 HP

入館後の滞在時間に制限はないが、全体の見学時間は概ね3～4時間。「チームラボアプリ」を利用すると、作品のコンセプトがわかり、一部作品では、作品の一部を創ることができる。また混雑している作品では整理券を発券でき、順番が近づくくとアプリに通知してくれるサービスもある。料金は大人(18歳以上):3,800円～、中高生:2,800円、子ども(4～12歳):1,500円となっている。

作品同士が影響し合い、人々のふるまいによって変化する「チームラボボーダレス」のアート。自分もアートの一部となりながら、そのときしか堪能できない美しいアートからは、まさに時の流れを忘れて没入する感覚が楽しめる。